

# 一般質問



専用アプリで読み取ると  
議会中継がご覧いただけます。

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について質問したり、説明や報告を求めたりするものです。

9月定例会では17人の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問は次のとおりです。

詳細は次の方法によりご覧ください

◆インターネット議会中継

市議会の様子（生中継・録画放映）をパソコンやスマートフォンでご覧いただけます。

◆会議録

冊子は市役所市政情報コーナー、図書館でご覧いただけます。  
なお、会議録はインターネットでもご覧いただけます。

※9月定例会の会議録は12月に発行予定です。

**問** 本市の「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」は、平成29年4月28日に埼玉県内史上初の日本遺産に認定された。現在においても、埼玉県内唯一無二の日本遺産である。文化庁は、本年7月14日に認定取り消しの可能性もある「再審査」の対象に本市が含まれていることを発表した。再審査に至るまでの経緯は、どのようなものなのか。再審査に向けてどのようにしていくのか。

**答** 令和2年12月に制度改正がなされ、認定地域は、認定から6年後に実績報告書と今後3年間の地域活性化計画を文化庁に提出して、認定継続の審査を受けることになった。文化庁では、実績報告書と地域活性化計画を日本遺産審査評価委員会に諮り、本年5月に本市の現地調査と協議が行われ、7月14日に再審査の結果を受けた。文化庁から日本遺産のストーリーを体感できる取組が不十分の指摘をいただいているので、検証の上、日本遺産を通じた地域活性化計画に反映し、再審査に万全を期していきたい。

**●ワンストップ窓口について**

**問** 諸手続が分散し、複数の窓口に行かないといけない場面がある。ワンストップ窓口の場合、そこに行けば、全てが完結する。例えば、「おくやみコーナー」であれば、死亡届を提出した後の各種手続を一つの窓口で受付可能となる。新たに導入する可能性はあるか。

**答** 全国的にも導入する自治体が近年増加しており、本市にとっても喫緊の課題である。今後、他の取組も参考に実施に向けて取り組んでいく。



日本遺産  
「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」について  
福島ともお（令和研究会）

**問** 高齢化社会の進展に伴い、ゴミ出しが困難な高齢者の方が増えている。国の2021年の調査によるとゴミ出し支援を実施している自治体は34.8%、実施していない自治体の24.5%も将来的には導入するとしている。そこで本市においても早急に実施すべきと考えるがどうか。

**答** 高齢者世帯等に対する戸別収集は、今後必要とされるサービスであると認識しており、先進自治体の状況などを調査するとともに、実施の可能性について検討していく。

**●住宅用防犯カメラ設置費補助**

**問** 全国的に住宅への侵入強盗や車上荒らしなど、犯罪が後を絶たないが、防犯カメラにより、犯人の検挙につながる可能性がある。秩父市で本年度から家庭用防犯カメラ設置に補助金を交付している。本市でも市民の安心安全のため、住宅用防犯カメラ設置費補助制度を創設すべきと考えるがどうか。

**答** 本市では、行田警察署と協力体制をとりながら、安全・安心メールによる不審者等の情報を配信するほか、地域の防犯推進員との連携により、青色回転灯付パトロールカーでの市内巡回を実施するなど、市民生活における安全安心の確保に努めている。住宅への防犯カメラの設置については、秩父市をはじめとした先進事例の制度実施による犯罪件数の減少等、その効果を注視していく。

**【その他の主な質問】**

- 障がいの有無にかかわらず遊べる「インクルーシブ公園」等の整備
- JR行田駅前駐輪場
- イベント情報一括管理
- 駐車場増設



市民の安心安全  
高齢者のゴミ出し支援  
梁瀬里司（令和研究会）